

本学の第4期中期目標として「遠隔医療の推進」を掲げており、今年度、附属病院内に遠隔医療の推進の中核となる組織を設置した。

20241002
学長定例記者会見
資料2

1. 弘前大学医学部附属病院遠隔医療センターの設置について

【設置目的】

弘前大学医学部附属病院における遠隔医療の推進にあたり附属病院内に「遠隔医療センター」を令和6年10月1日から新設。

【概要】

数年来に実施している Doctor to Doctor (本院医師が相手方病院の医師へ指導・助言)に加えて、今後は本院医師が遠隔地の患者を診療する Doctor to Patient を本格的に実施する。ついでには、連携(支援先)医療機関との連絡調整、遠隔医療における通信環境の整備、遠隔医療に関する院内教育体制の整備など本院が実施する遠隔医療全体の管理運営部門とする。

【組織】

- ・ センター長 1名
- ・ 副センター長 2名
- ・ 事務職員 1名
- ・ 技術職員 1名

2. 弘前大学医学部附属病院における今後の遠隔医療の取組について

【令和5年度までの取組】

1. 治験における遠隔モニタリング
2. 遠隔コミュニケーションアプリを活用した救急搬送体制の構築
3. 遠隔透析管理
4. 遠隔放射線治療計画

【令和6年度以降の取組】

1. 遠隔ICUによる重症患者管理
2. 遠隔妊産婦管理
3. 遠隔脳神経外科手術支援
4. (他医療機関と連携した) オンライン診療
5. 遠隔画像診断
6. 遠隔ロボット手術支援



それぞれの取組については、現在関係自治体などと準備・調整中であり、実行の際には改めて本学ホームページなどでプレスリリースを行う予定